

記者からの質問等（7件：約12分）

Q：読売新聞

資料7の4～5ページの(1)～(5)の中で、令和2年度の新規事業はどれか。

A：総合政策部長

子ども若者ささえ愛基金事業、シティプロモーション事業、観光プロモーション事業、白根百田小学校屋内運動場改修事業、大明小学校屋上防水改修事業、甲西市民総合グラウンド機能回復事業、保育料3歳未満児第2子無償化事業である。

Q：読売新聞

南アルプスIC新産業拠点整備事業予算9,500万円の内訳は何か。公募に係る費用等か。

また、公募はいつから始めるか。オープンは、いつ頃か。

A：総合政策部長

公募に係る費用は入っていない。設計測量委託、事業用地の地代補償、信用調査、契約書類作成支援委託、図面作成費、用地除草補助金などである。

公募は、現在のところ年度内に始める予定である。オープンについては、企業が決まった後、企業と詰めていくことになる。

Q：読売新聞

どのような企業に来て欲しいか、市長に伺う。

A：市長

市の玄関口に位置することから、市の農作物を県内外に訴えていく場所としたい。集客力の強い企業に来ていただき、その集客力を活用してマルシェやレストランが成り立つようにしていきたい。

Q：NHK

保育料3歳未満児第2子無償化について、県内他市で同様に無償化している自治体があるか。

A：総合政策部長

韮崎市が行っているのではないか。

Q：NHK

観光プロモーション事業の内容は具体的にどのようなものか。シティプロモーション事業との違いは何か。

A：総合政策部長

シティプロモーション事業は、市の知名度を高めるため市全体の推進戦略を立てるもの。その中で、観光プロモーション事業は先行して行う。

具体的な内容としては、シティプロモーション事業は、市のPR動画制作、戦略支援アドバイザー報酬、キャッチコピーやロゴの作成等。観光プロモーション事業は、観光動画やポスター制作、広告宣伝費等である。

Q：読売新聞

保育料第2子無償化について、蕪崎市では、認可外保育所は対象外など条件が設定されているが、南アルプス市では条件はあるか。市長の所信で第2子以降無償化とあったが、第2子のみか、第3子以降も対象か。

A：市長

本市では、第2子以降は全て対象とする。また、所得制限等の条件は無い。

Q：朝日新聞

昨年（令和元年度）の当初予算は、骨格予算だった。令和2年度の予算は、昨年の6月補正後の予算額と比べて、1.6%増とのことだが、6月補正後の予算額はいくらか。

A：総合政策部長

6月補正後の予算額は、29,464,903,000円で、この額と比べて1.6%増となっている。

以上